

商品名 エレトリプタン錠20mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	2160 血管収縮剤	一般名	エレトリプタン臭化水素酸塩錠
英名	Eletriptan TOWA	剤型	錠
薬価	119.40	規格	20mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(劇)

エレトリプタン錠20mg「トーフ」の効能・効果

片頭痛＜家族性片麻痺性・孤発性片麻痺性・脳底型・眼筋麻痺性片頭痛を除く＞

エレトリプタン錠20mg「トーフ」の使用制限等

- 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、心筋梗塞の既往、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、異型狭心症、冠動脈攣縮、脳血管障害の既往、一過性脳虚血発作の既往、末梢血管障害、コントロールされていない高血圧症、重度肝機能障害、エルゴタミン投与中、エルゴタミン誘導体含有製剤投与中、5-HT_{1B}/1D受容体作動薬投与中、HIVプロテアーゼ阻害薬投与中、ニルマトレルビル・リトナビル投与中
- 心血管系の疾患が認められない、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、重篤な不整脈、冠動脈疾患の危険因子を有する、WPW症候群、ウォルフ・パーキンソン・ホワイ特症候群、心臓副伝導路と関連した不整脈、脳血管障害又はその恐れ・疑い、てんかんを起こしやすい器質的脳疾患、痙攣を起こしやすい器質的脳疾患、コントロールされている高血圧症、肝機能障害

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

エレトリプタン錠20mg「トーフ」の副作用等

- 不整脈、狭心症、心筋梗塞、虚血性心疾患様症状、一過性胸痛、一過性胸部圧迫感、虚血性心疾患
- アナフィラキシーショック、アナフィラキシー、てんかん様発作、重篤な発作性頻脈、薬剤の使用過多による頭痛
- 動悸、頻脈、血圧上昇、嘔吐、発疹、皮膚そう痒症、蕁麻疹、血管浮腫、倦怠感、筋痛、筋無力症、胸痛、胸部圧迫感

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

4. 浮動性めまい、傾眠、眠気、異常感覚、頭痛、感覚減退、回転性めまい、筋緊張亢進、熱感、潮紅、嘔気、口内乾燥、消化不良、腹痛、疲労、多汗、無力症、悪寒、咽喉頭疼痛、疼痛、背部痛、咽喉絞扼感、胸部絞扼感

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

5. 重篤な心疾患、薬剤の使用過多による頭痛、重篤な発作性頻脈、血圧上昇

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

エレクトリプタン錠20mg「トーフ」の相互作用

1. 薬剤名等：エルゴタミン

発現事象	血圧上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	5-HT _{1B} /1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強	指示	禁止

2. 薬剤名等：エルゴタミン誘導体含有製剤

発現事象	血圧上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	5-HT _{1B} /1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強	指示	禁止

3. 薬剤名等：5-HT_{1B}/1D受容体作動薬

発現事象	血圧上昇、血管攣縮が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に作用を増強	指示	禁止

4. 薬剤名等：HIVプロテアーゼ阻害剤

発現事象	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	禁止

5. 薬剤名等：ニルマトレルビル・リトナビル

発現事象	本剤の代謝が阻害され血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	禁止

6. 薬剤名等：マクロライド系抗生物質

発現事象	本剤の血漿中濃度－時間曲線下面積＜AUC＞は4倍に増大、本剤の最高血漿中濃度＜C _{max} ＞は2倍に増大、血圧が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	注意

7. 薬剤名等：イトラコナゾール

発現事象	本剤のCmax・AUCが増大し血圧が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	注意

8. 薬剤名等：ベラパミル

発現事象	本剤のCmax・AUCが増大	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	注意

9. 薬剤名等：グレープフルーツジュース

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤は、主として肝代謝酵素チトクロームP450 3A4により代謝され、代謝酵素阻害薬によりクリアランスが減少	指示	注意

10. 薬剤名等：エンシトレルビル フマル酸

発現事象	本剤の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	-
理由・原因	エンシトレルビル フマル酸のチトクロームP450 3Aに対する阻害作用により、本剤の代謝が阻害	指示	注意

11. 薬剤名等：デキサメタゾン

発現事象	本剤の代謝が促進され血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	酵素誘導剤により本剤の代謝が促進	指示	注意

12. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	本剤の代謝が促進され血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	酵素誘導剤により本剤の代謝が促進	指示	注意

13. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の代謝が促進され血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	酵素誘導剤により本剤の代謝が促進	指示	注意

14. 薬剤名等：セイヨウオトギリソウ含有食品

発現事象	本剤の代謝が促進され血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	セイヨウオトギリソウにより本剤の代謝が促進	指示	注意

15. 薬剤名等：選択的セロトニン再取り込み阻害薬

発現事象	興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥	投与条件	-
理由・原因	セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、本剤との併用により、セロトニン作用が増強	指示	注意

16. 薬剤名等：セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬

発現事象

興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥

投与条件

-

理由・原因

セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、本剤との併用により、セロトニン作用が増強

指示

注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.